

“石川 馨 先生 生誕100年記念”

参加は
シンポジウム
賛助会員
限定

第100回記念 品質管理シンポジウム

日本の成長戦略を支える 品質管理の役割

～これから求められる価値ある品質を考える～

東京理科大学名誉教授

狩野 紀昭氏

特別記念講演1

「石川 馨 先生 生誕100年を記念して
いわゆるTQM企業の再活性化を！
『Advanced TQMの奨め』」

積水化学工業(株) 相談役

大久保 尚武氏

特別記念講演2

「企業経営と品質管理の
SHINKA!」

トヨタ自動車(株) 名誉会長

豊田 章一郎氏

特別講話

「日本の持続ある成長に向けて」

(株)小松製作所 相談役

坂根 正弘氏

特別記念講演3

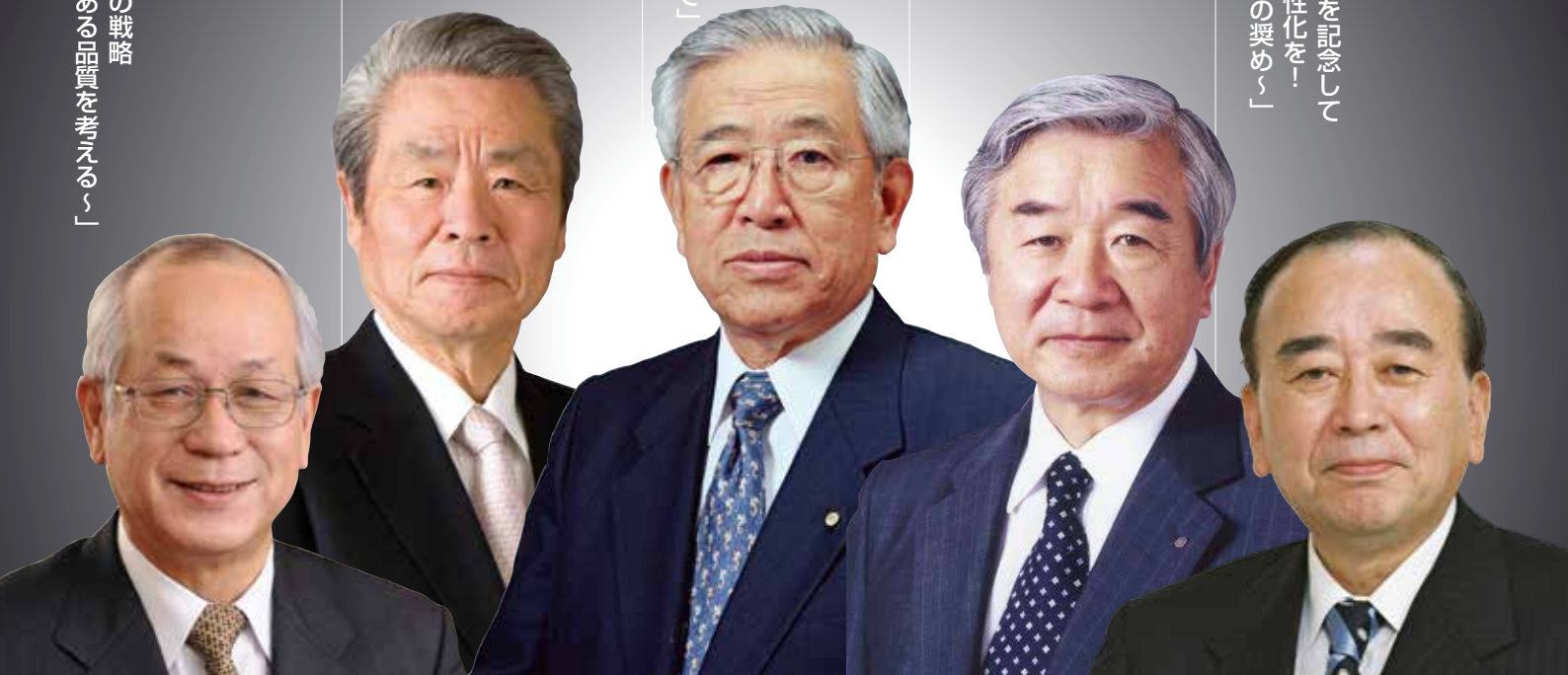
「日本経済再生の課題と
民間の役割」

東京工業大学 教授

圓川 隆夫氏

特別記念講演4

「表の品質力と顧客価値創造の戦略
『これから求められる価値ある品質を考える』」



日 時：2015年6月5日(金)～6日(土)
会 場：箱根ホテル小涌園

主 催：一般財団法人 日本科学技術連盟
後 援：一般社団法人 日本品質管理学会

6/5(金) 特別記念講演2

「企業経営と品質管理のSHINKA!」

積水化学工業(株) 相談役
大久保 尚武氏

価値観の多様化やグローバル化をうけ、企業経営のあり方は近年大きく変わってきています。その中で「品質管理」もまた新たな視点や観点によって「進化」をしていくことが求められます。経営者として私が取り組んできた事例を踏まえながら、これから求められる企業経営と品質管理の関わり、あるべき姿についてお話したいと思います。

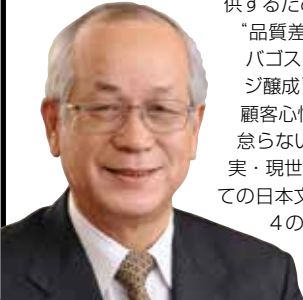


6/6(土) 特別記念講演4

「表の品質力と顧客価値創造の戦略
~これから求められる価値ある品質を考える~」

東京工業大学 教授 圓川 隆夫氏

顧客の価値を考える上でまずCS科学の立場から、世界各国のCS調査を通じた研究から、顧客価値の事後的尺度であるCSが、商品の実用的価値よりも情緒的価値。そして商品そのものよりも企業イメージの影響が思いの外大きいこと、そしてその国による違いを定量的に紹介する。これらを踏まえて価値ある品質を提供するための「生産文化的視点による差別化軸の転換」、「品質差の見える化」、「ものコトづくり」、「良性ガラパゴスを売り込む」、「アウトスタディング企業イメージ醸成」の5つの戦略と事例について述べる。同時に、顧客心情を思いやり、無限遠点の目標にも改善努力を怠らない日本文化の強みと、それを覆い隠してきた現実・現世主義ゆえのリスクマネジメントの脆弱さについての日本文化について言及する。これに気付くことで第4の産業革命といわれるインダストリー4.0等を展望し、価値ある品質の優位性を武器にした成長戦略について考える。



6/6(土) 特別記念講演3

「日本経済再生の課題と民間の役割」

(株)小松製作所 相談役 坂根 正弘氏

15年の長期に亘るデフレ、そしてプレーヤ過多による過当競争で、日本企業はその多くが根拠なき自信喪失に陥りました。コマツも同様であり、東京本社での一極人材採用、海外に偏重した生産投資など、コマツの歩みはある意味で「日本の縮図」と言えます。しかし、2001年に始まる経営構造改革で経営の「見える化」を推し進めた結果、自信を取り戻しました。成長とコストの分離により、日本での製造コスト競争力は決して国際的に負けていないことを知り、日本発グローバル企業として近年は国内生産回帰を進めています。更に、デフレから脱しきれない日本の国レベルの構造改革を考えてみれば、地方分権、産業の新陳代謝で一歩先を行くドイツを手本として、「隋より始めよ」の精神で取組まねばなりません。政府の有識者議員として地方創生、国家戦略特区会議などに様々な助言を与える坂根氏が、石川県におけるコマツの地方活性化の取組みにも触れつつ、この国の進むべき道について問いかけます。



6/5(金) 特別講話

「日本の持続ある成長に向けて」

トヨタ自動車(株) 名誉会長 豊田 章一郎氏

いま世界ではグローバル化とイノベーションが急速に進展し、技術のパラダイムシフトが進んでおります。こうした中で日本は環境・エネルギー、少子高齢化の問題など幾多の成長の制約となる課題を抱えており、現状に満足し将来の改革を怠れば間違いなく世界の三流国になり下がってしまう危険性もあります。いま日本に求められるのは、これら諸課題を足枷と考えるのではなく、新たな成長の契機と捉えて新たな発想のもとに創造性を発揮して挑戦していくことが大切だと思います。日本が目指す科学技術創造立国の一翼を担うモノづくり産業は、世界の変化にしっかりと目を向けて謙虚に学びながら、貪欲な向上心をもって、品質・技術・コストなどの面で、世界をリードする新たなイノベーションを起こし、世界中のお客様に喜んでいただける安くして良い商品を提供していくことが何よりも求められております。



6/5(金) 特別記念講演1

「石川馨先生 生誕100年を記念して
いわゆるTQM企業の再活性化を!
~Advanced TQMの契機~」

東京理科大学名誉教授 狩野 紀昭氏

本年は、石川馨先生の生誕100年を迎える。先生は、水野滋先生、朝香鐵一先生とともに、本QCSの初代の組織委員を務められた。品質管理の裾野を広くするための既存の活動に加えて、山を高くすることを狙いとして創設されたと思う。QCSとともに、「産」・「学」双方の山を高めることに貢献した活動にデミング賞がある。しかし、過去64年間の在日企業のデミング賞とデミング大賞の受賞会社数には190社対18社という大きなギャップがある。これは、山を高める活動が十分でなかったことを示している。このギャップを埋めるために受け易くする努力も必要であるが、もっと本質的なことは、お客様に喜んでもらえる製品を生み出し、ひいては企業経営に今以上に役立つTQMを再構築することである。これにより、いわゆるTQM企業(デミング賞受賞、但し、大賞未受賞企業)の再活性化を図り、結果としてデミング大賞への挑戦が増えればと考える。このためには、少々理論が煩く、多少手間暇がかかるかもしれない方法論でも、経営に役立つのであれば、これを良しとして進めて行くことが必要と考える。Basicから広げてAdvancedへという意気込みを皆さんとシェアしたい。このような意気込みのもとで、求められる価値ある品質の一つとして、これまでのQuality for CostにQuality for Salesを加えた品質の追及がある。また、今後求められる品質マネジメントの一つとして、製造で言えば、プロセス⇒検査⇒製造責任クレームを、開発設計で言えば、プロセス⇒DR⇒開発設計責任クレームを縦につなげて一気通貫で評価する方法についても提示したい。



パネルディスカッション 「これから求められる品質経営とは」(仮題)



【コーディネーター】
長田 洋氏
文教大学教授、東京工業大学名誉教授



【パネラー】
飯塚 悦功氏
東京大学名誉教授



【パネラー】
岩崎 日出男氏
近畿大学名誉教授



【パネラー】
藤岡 高広氏
愛知製鋼(株) 取締役社長



【パネラー】
田中 千秋氏
東バタリーセパレーターフィルム(株) 相談役

品質管理シンポジウム組織委員

(五十音順、敬称略) ※◎は第100回品質管理シンポジウム担当組織委員



圓川 隆夫
東京工業大学 教授



◎佐々木 眞一
日科技連 理事長
トヨタ自動車(株) 相談役・技監



鈴木 和幸
電気通信大学 教授



田中 千秋
東ババッテリーセラータフィルム(株)
相談役



中尾 眞
(株)ジーシー 取締役会長



宮村 鐵夫
中央大学 教授

過去の主な講演者

(組織名・役職は講演当時の表記になっております)



第99回
マツダ(株) 代表取締役 会長
金井 誠太氏



第98回
㈱佐々木常夫マネジメントリサーチ
代表取締役
佐々木 常夫氏



第97回
(株)プリヂストン 相談役
荒川 詔四氏



第96回
㈱ローランドベルガー 日本法人会長
遠藤 功氏



第85回・第95回
サムスン電子 常任顧問
Y. W. Lee 氏



第94回
東京都市大学 教授
涌井 史郎氏



第93回
一橋大学大学院 教授
一條 和生氏



第91回
良品計画 会長
松井 忠三氏



第89回
新日本製鐵 代表取締役会長
三村 明夫氏



第89回
日本マクナルド 会長兼社長兼CEO
原田 泳幸氏



第88回
小松製作所 代表取締役会長
坂根 正弘氏



第87回
花王 前会長
後藤 卓也氏



第86回
経済同友会 代表幹事
桜井 正光氏



第83回
経団連 名誉会長
奥田 碩氏

品質管理シンポジウムの歴史

第1回企画の趣旨

第1回シンポジウムの開催後に発行された記録(報告書)に、3先生*によるシンポジウムの企画の趣旨が掲載されているので、その一部をご紹介します。

*水野滋氏(東京工業大学教授)、朝香鐵一氏(東京大学教授)、石川馨氏(東京大学教授)

わが国に品質管理が導入されてからすでに20年になろうとしている。この間多くの人々の努力によって目覚ましい効果が挙げられて、今日の企業では品質管理なくしては1日も存続できないような状態となっている。また、品質管理はいわゆるTQCとして、各階層の人々に受け入れられるに至って品質管理の山の裾野はますます広がりつつある。ことに最近における現場職員クラスの品質管理は「QCサークル活動」を中核として急速に拡大しており、諸外国も目を見張るような状態となっている。

ところが、裾野が広がる一方、山を高くする努力、すなわち品質管理の当面の問題点を実施面、手法面から掘り下げて、新しい方向に発展させるための努力は、残念ながら十分とはいえない。われわれがこのことに気づいて、品質管理の勉強を改めて行いたいと考えたとき、日科技連が多額の経費を支出して、「品質管理シンポジウム」が開催されることになったことは、日本の品質管理界に1つの強力な動力を与えるものとしてわれわれに大きな勇気を与えてくれた。(以下略)

このように、本シンポジウムは「品質管理の山を高くする」「新しい方向に発展」「品質管理界の動力」という大きく3つの役割を担うことになり、現在もその役割を継承しています。



飛び入りゲストの西堀栄三郎先生の講演



ノミネーションの様子

本シンポジウムの特長

- ① 今後の日本の品質管理の指針を示します。
- ② 日本を代表するゲストスピーカーから深掘した講演を聞くことができます。
- ③ 「談話室」「パネルディスカッション」「立食パーティー」など参加者が交流できる場を数多くご用意しています。

趣旨



佐々木 眞一

日本科学技術連盟 理事長
トヨタ自動車(株) 相談役・技監
第100回品質管理シンポジウム
主催組織委員

日科技連では、1946年の創立以来、わが国の産業界に品質管理を普及・展開することを目的として、様々な事業に取り組んでおります。

「品質管理シンポジウム（略称：QCS）」は、産業界に広く品質管理に関する今後の方向性を示す事業の一つとして、年2回（6月と12月）継続して開催しています。今年の6月で100回目の開催を迎えますが、この積み重ねが、ある意味ではわが国の品質管理発展の歴史を物語っていると言っても過言ではありません。

記念すべき、第100回品質管理シンポジウムは、これまで日本の経済成長を支えた品質管理の役割を振り返り、社会環境の変化を敏感に察知し、これから求められる品質経営について一緒に考えていきたいと思っております。

プログラム		開催期日：2015年6月5日(金)～6日(土)	
		会場：箱根ホテル小涌園	
月日	時間	科目	講演者
6/5 (金)	13:15～13:30	<主催者挨拶・オリエンテーション> 「品質管理シンポジウムの歴史」	佐々木 眞一 日本科学技術連盟 理事長 (トヨタ自動車(株) 相談役・技監) ※100QCS 主催組織委員
	13:30～14:30	<特別記念講演1> 「石川 馨 先生 生誕100年を記念して いわゆるTQM企業の再活性化を！ ～Advanced TQMの奨め～」	狩野 紀昭 氏 東京理科大学名誉教授
	14:30～14:50	休憩	
	14:50～15:40	<特別記念講演2> 「企業経営と品質管理のSHINKA！」	大久保 尚武 氏 積水化学工業(株) 相談役
	15:40～15:50	休憩	
	15:50～16:20	<特別講話> 「日本の持続ある成長に向けて」	豊田 章一郎 氏 トヨタ自動車(株) 名誉会長
	16:20～18:30	トップサロン（予定） ※100回記念シンポジウムにつき、本シンポジウムのスポンサー様である賛助会員企業トップの方々に、特別に講演者をまじえてご懇談をいただく場を予定しております。	
	18:30～19:45 20:00～22:00	夕食（立食） 談話室（参加自由）	
6/6 (土)	9:20～10:10	<特別記念講演3> 「日本経済再生の課題と民間の役割」	坂根 正弘 氏 (株)小松製作所 相談役
	10:10～10:30	休憩	
	10:30～11:40	<特別記念講演4> 「表の品質力と顧客価値創造の戦略 ～これから求められる価値ある品質を考える～」	圓川 隆夫 氏 東京工業大学 教授
	11:40～12:30	昼食（着席）	
	12:30～15:00	<パネルディスカッション> 「これから求められる品質経営とは」（仮題）	【コーディネーター】 長田 洋 氏 (文教大学教授、東京工業大学名誉教授) 【パネラー】 飯塚 悦功 氏 (東京大学名誉教授) 岩崎 日出男 氏 (近畿大学名誉教授) 藤岡 高広 氏 (愛知製鋼(株) 取締役社長) 田中 千秋 氏 (東レバッテリーセパレータフィルム(株) 相談役)
	15:00～15:15	第100回 品質管理シンポジウム まとめ	佐々木 眞一 日本科学技術連盟 理事長
	15:15～15:25	次回（101回）品質管理シンポジウム案内	田中 千秋 氏 東レバッテリーセパレータフィルム(株) 相談役
15:25～15:30	閉会挨拶	小大塚 一郎 日本科学技術連盟 専務理事・事務局長	

※テーマおよびプログラムは、変更になる場合があります。

品質管理シンポジウム賛助会員入会のご案内

当財団は、創立以来その社会的使命に鑑み主要事業の一つとして、わが国の品質管理の開発とその普及発展につとめてまいりました。今日わが国の品質管理は、関係各方面の方々の強力なご協力のもとに、その成果は広く海外諸国の注目を浴びるまでに成長いたしております。

今日のように激変する経営環境の中で、品質管理がさらに強くその機能を発揮し、企業にますます多くの裨益をもたらすためには、経営に高度の計画性が要求されると同様に、品質管理の推進にも対応するビジョンが必要であり、そのためには関係する研究者、指導者、実施者の組織的な協力がなければなりません。

日科技連が、品質管理の今後の発展を希求して、組織的・計画的な総合研究の場“品質管理シンポジウム”を定期的に開催しておりますのは、この事業はわが国の品質管理とともに歩んでまいりました日科技連のむしろ使命とも考え、提唱・実施するものであります。是非、本シンポジウム賛助会員にご入会いただきますようご案内申し上げます。

品質管理シンポジウム 賛助会員 **77** 社 (日科技連賛助会員とは異なります) ※2015年3月1日現在

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|---------------------|
| 1. アイシン・エイ・ダブリュ(株) | 27. シャープ(株) | 53. (株)日本科学技術研修所 |
| 2. アイシン精機(株) | 28. JUKI(株) | 54. 日本特殊陶業(株) |
| 3. 愛知製鋼(株) | 29. 積水化学工業(株) | 55. パナソニック(株) |
| 4. (株)アドヴィックス | 30. (株)セキソー | 56. パナソニック ヘルスケア(株) |
| 5. (株)アーレスティ | 31. ダイキン工業(株) | 57. (株)羽生田製作所 |
| 6. (株)インターワークス | 32. ダイヤモンド電機(株) | 58. 日野自動車(株) |
| 7. (株)MCシステムズ | 33. (株)竹中工務店 | 59. フクムラ仮設(株) |
| 8. オージー技研(株) | 34. (株)千代田グラビヤ | 60. 富士ゼロックス(株) |
| 9. 大塚化学(株) | 35. (株)TTM | 61. 富士電機(株) |
| 10. オムロン(株) | 36. テックスエンジソソリューションズ(株) | 62. フジミ工研(株) |
| 11. 鹿島建設(株) | 37. (株)デンソー | 63. ペンてる(株) |
| 12. 関西電力(株) | 38. 住友理工(株) | 64. (株)保志 |
| 13. (株)キャタラー | 39. 東レ(株) | 65. 前田建設工業(株) |
| 14. コーセル(株) | 40. トクラス(株) | 66. (株)前田製作所 |
| 15. コニカミノルタ(株) | 41. トヨタ自動車(株) | 67. 三島食品(株) |
| 16. (株)小松製作所 | 42. トヨタ自動車九州(株) | 68. (株)村田製作所 |
| 17. 澤藤電機(株) | 43. トヨタ自動車東日本(株) | 69. (株)メイドー |
| 18. サンデン(株) | 44. (株)豊田自動織機 | 70. 名北工業(株) |
| 19. サンデンシステムエンジニアリング(株) | 45. トヨタホーム(株) | 71. (株)安川電機 |
| 20. サンデン物流(株) | 46. 長津工業(株) | 72. (株)ユニバンス |
| 21. サンワテック(株) | 47. 新潟ダイヤモンド電子(株) | 73. (株)リコー |
| 22. (株)GSユアサ | 48. 日華化学(株) | 74. リコーエレメックス(株) |
| 23. (株)ジーシー | 49. (株)日科技連出版社 | 75. リコーテクノロジーズ(株) |
| 24. (株)ジーシーデンタルプロダクツ | 50. 日産自動車(株) | 76. (株)良品計画 |
| 25. (株)ジェイテクト | 51. 日産車体(株) | 77. ローム(株) |
| 26. 清水建設(株) | 52. 日本電気(株) | |

品質管理シンポジウム 賛助会員特典・入会費用

- 特典 1**▶ 品質経営(革新)のための次代の指針と最新情報が入手できます。
- 特典 2**▶ 参加企業各社の品質に関する最新情報が入手できます。
- 特典 3**▶ 本シンポジウムに毎回1名様が無料で参加でき、2名様以降は特別価格でご参加いただけます。
- 特典 4**▶ 本シンポジウム、発表報文集・実施報告が無料で入手できます。
- 特典 5**▶ 小田原駅から会場(箱根ホテル小涌園)まで会員限定の無料送迎サービスをご利用いただけます。
- 特典 6**▶ 一部の講演を会員専用ページから視聴いただけます。(講演者の許可を得た映像に限りますので不定期です)

入会費用 1口につき年額187,920円(消費税含む)

上記入会金をお支払いいただきますと **1名様**の参加枠(無料)を確保できます。(今回(100回)に限り、**2名の無料枠**があります)
2名様から特別価格(43,200円)でご参加いただけます。

問い合わせ/入会申込み

E-mailまたはお電話にてご連絡いただければ、「品質管理シンポジウム賛助会員申込書」をお送りさせていただきます。

一般財団法人日本科学技術連盟 教育推進部 第一課 品質管理シンポジウム担当(安随/清田)

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1 TEL: 03-5378-1213 FAX: 03-5378-9842 E-mail: tqmsemi@juse.or.jp

参加要領

開催日時

2015年6月5日(金) 13:15~6月6日(土) 15:30
(6月5日受付開始12:00~)

昼食は済ませてからご参加ください。ホテルのレストランをご利用いただく事もできます。

会場

箱根ホテル小涌園「コンベンションパレス・蓬莱の間」
〒250-0407 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平
TEL. 0460-82-4111 FAX. 0460-82-4137

参加対象

企業の役員、上級管理職の方々

参加費

○本シンポジウム賛助会員会社

1名無料、2人目から43,200円/1名(消費税込み)

※今回は、通常の会員無料参加枠1名に加え、会員会社からのトップ(会長・社長)に限り、1名無料招待いたします。今回のシンポジウムは多くの会員企業様にご参加頂くことを目的に1社3名(無料枠含む)に限定させていただきます。※トップ(会長・社長)が参加しない場合は、1名のみ無料参加枠になります。

※食事代(6月5日夕、6月6日朝・昼)は日科技連が負担いたします。尚、宿泊費、交通費はご負担ください。

バス送迎サービス

JR小田原駅をご利用頂く参加者の方は開催地までのバス送迎サービス(時間帯限定)を致します。

①集合場所:

1) 小田原駅 西口 改札口付近

6月5日(金) 11:20発車→12:00 ホテル到着予定

2) ホテル小涌園 駐車場付近

6月6日(土) 15:50発車→16:30 小田原駅到着予定

※バス会社のバスガイドが案内板を持ってお待ちしております。

※発車の30分前にバスは到着致します。

②定員:53名(乗車)

※先着順になりますので、定員を越えてしまった場合は、誠に恐れますが、各交通機関をご利用頂きますようお願い致します。

③その他:

バス送迎サービスをご利用しない場合は、公共交通機関のバスをご利用ください。

申込方法・問い合わせ先

第1次〆切を4月10日(金)とさせていただきます。

一般財団法人 日本科学技術連盟 教育推進部 第一課

品質管理シンポジウム担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1 TEL:03-5378-1213

FAX: 03-5378-9842 E-mail: tqmsemi@juse.or.jp

申込方法

下記の申込フォームから必要事項を入力し、お申し込みください。
以下のフォームで参加者**3名まで**申し込むことが可能です。

<https://fofa.jp/juse/a.p/153/>

申込画面フロー

連絡担当者
入力画面



参加者1
入力画面



参加者3
入力画面



確認画面



登録完了画面

※

※この間に参加者2の入力画面があります。

ご入力時の注意事項: メールアドレスや電話番号などの英数字を入力の際は、必ず半角で入力してください(全角でも入力することができてしまいますので十分ご注意ください)。

1 連絡担当者入力画面【全て必須項目】

お申込受付後「関係資料」をお送りする方の情報を入力します。参加人数(シンポジウム賛助会員)と参加人数(一般)の欄には、実際の参加人数(数値のみ)を入力してください。
※シンポジウム賛助会員会社の場合は、参加人数(一般)の欄には0(ゼロ)を入力してください。

2 参加者1の入力画面【全て必須項目】

参加者情報(1画面1名分)を入力します。

3 参加者2~3の入力画面【任意項目】

参加者が2名以上いる場合は、全て必須です。

参加者が2名以上の場合はこの画面以降入力してください。参加者が1名の場合は、何も入力せずに、確認画面までお進みください。参加者2~3の入力画面では入力項目の必須チェックを行っておりませんので、2名以上を入力する場合は、入力漏れがないようにご注意ください。